

防災・減災に役立つcmapアプリをご利用ください！

cmap（シーマップ）はあいおいニッセイ同和損保・エーオン・横浜国立大学による産学共同研究の一環で開発し、無償公開しています。

◆ cmapとは…？

cmapの「c」は自然災害を意味する「catastrophe（カタストロフィー）」に由来します

- ◎ 台風・豪雨・地震による建物被害をリアルタイムで予測する世界初（※1）のウェブサイト・アプリです！
※1 2019年6月サービス開始時当社調べ
- ◎ 予測結果が市区町村別で地図上に表示されるので被災地域や規模の早期把握に便利です！
- ◎ 台風の予想進路や警戒レベル（3・4・5相当）情報、ハザードマップなども確認できます！

◆ cmapの主な機能

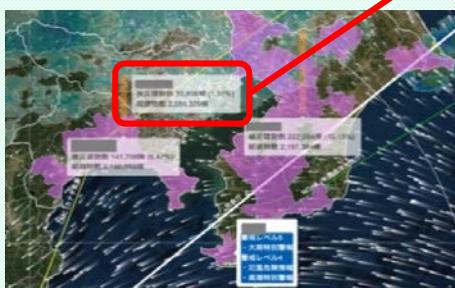
被害が見込まれる場合、被災建物数や被災率をラベル表示します

台風上陸前から風災被害を予測



台風の予想進路と最大7日先の被害予測を表示するので早めに備えることができます

警戒レベル3・4・5相当地域の表示



警戒レベル3・4・5相当の危険な地域が一目でわかり有事の際の参考情報となります

洪水、土砂危険・警戒ハザードマップを表示



平時も有事も確認可能、危険な地域が一目でわかります

◆ cmapアプリの特徴

- ◎ 災害に関する緊急情報（※2・3）を通知
- ◎ 近隣の避難先情報（※4）をマッピング
- ◎ 2地点の郵便番号登録が可能
- ◎ バリアフリー情報（※5）をマッピング
- ◎ 当社ホームページにもリンク

- ➡ 位置情報に基づきピンポイントの情報をスマートフォンに通知します！
- ➡ 手軽に確認ができる外出先でも安心です！
- ➡ 離れた場所にいるご家族・知人の災害対策に！
- ➡ 現在地や避難所周辺のバリアフリー情報を把握することが可能！
- ➡ 大規模災害発生時はホームページの事故受付もご利用可能！



※2 災害発生時の気象警報等や、自治体等が発信するレアート®の情報です。レアート®の詳細は総務省ホームページをご覧ください。

→ https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/ictriyou/02ryutsu06_03000032.html

※3 緊急情報は都道府県単位で着信します。（例：東京都内の郵便番号を登録した場合「東京都」の情報が通知されます）

※4 自治体の緊急指定避難場所や緊急避難所等の情報を表示します。ご利用時点で必ずしも正確なデータとは限りませんので、自治体の公表する情報も確認の上、自らの判断で避難行動をとってください。

※5 一般社団法人Wheelogが提供する、バリアフリートレイン、スロープ、エレベーター、車いすの走行ログ等の情報を指します。

画面イメージ

<気象警報・避難勧告等> <避難先情報>



ダウンロードはこちら

App Store
からダウンロード

※個人情報の登録は不要です

Google Play
で手に入れよう



位置情報の使用を許可してください

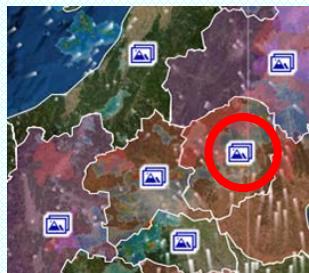
通知を許可してください

注：本ウェブサイトで表示する被災建物数等の結果はシミュレーションによる予測結果であり、その結果が実際の被災建物数と一致することを保証するものではありません。分析結果は警報や注意報に類するのではなく、避難の判断基準に使用するものではありません。



◆ SNS情報表示機能

- ◎ JX通信社のFASTALERT情報の一部をcmap専用の特設サイトで閲覧いただけるサービスです
- ◎ 気象・災害・ライフラインに関するSNS情報が一定件数に達すると、都道府県毎に表示します
- ◎ 大雨や河川増水などの情報も表示されるため、被災前後の参考情報として確認いただけます



JX通信社のAI解析により
フェイクニュース等は
排除して表示されます。



◆ 避難場所・避難所と混雑状況表示機能

- ◎ 日本全国の避難場所・避難所（※6）を表示します
- ◎ 避難所の空き情報（※7）を表示します
- ◎ 避難所の収容人数が制限された場合も一目でわかります

※6 避難場所とは、災害から命を守るために緊急避難先をいいます。

避難所はと、災害の危険がなくなるまで必要な期間滞在し、または災害により自宅へ戻れなくなった住民等が一時的に滞在する施設をいいます。

※7 株式会社VACAN（バカン）が協定した自治体の避難所混雑情報を表示します。

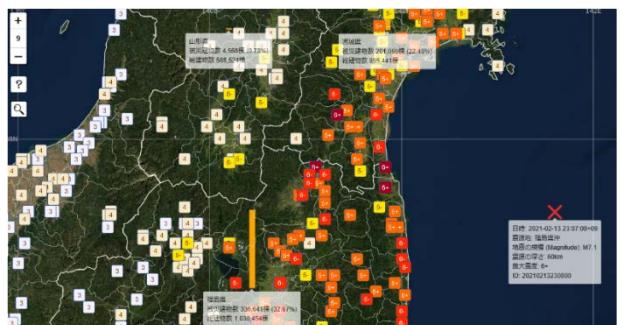
◆ バリアフリー情報表示機能（アプリのみ）

- ◎ バリアフリー情報を表示します
- ◎ 被害予測や避難所情報を確認する際に、現在地や避難所周辺のバリアフリー情報を同時に把握することができます



◆ その他の機能

震度5強以上の地震で約10分後に被害予測



過去災害のシミュレーション



伊勢湾台風のシミュレーション



1959年、過去最大級の犠牲者を出した「伊勢湾台風」が現在の日本に上陸した場合のシミュレーション機能です

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP